

重点11 教職員の研修の充実 / 1D 教職員の資質向上(研究協議会の活動)

ねらい

四日市市・三重郡内の幼稚園，小・中学校の全教職員（校長・教頭・教諭等）は，33の三四教育研究協議会のいずれかに所属し，勤務校園を越えて主体的な研修活動に取り組んでいます。また，研究協議会活動を通して保護者や地域の人々との連携も進めています。

この研究協議会の運営の母体となっているのが，「三四教育研修運営委員会（略称 三四運営）」です。三四運営は三四管内教職員の研修活動における事業の運営や調整について，支援しています。このような主体的な研修組織は全国的にみても大変特色あるものです。

現状と課題

研究協議会は，年間7回（5，6，10，11，12，1，2月）の定例日を設定し，主な活動日として，授業研究，研究発表，実践発表，実技研修，講演等の研修会を実施しています。

研究協議会テーマと会員数（平成20年度）

種別	研究協議会名	研究テーマ	会員数
小学校教科別研究協議会	小学校国語	一人ひとりの子どもに確かな国語学力を身につけさせる指導 ～基礎的技能を大切に学習を求めて～	73
	小学校社会	「社会の様子や問題を正しくとらえる力をどう育てるか」	39
	小学校算数	追求し，考え続ける子どもを育てる ～自分の力を信じて，ねばり強く取り組む子ども～	63
	小学校理科	「自然にはたらきかけ，そのしゅみを追究する活動を通して，自然を豊かにとらえる子どもを育てる。」	103
	小学校音楽	生き生きと活動し，自らの表現を高める子どもをめざして	71
	小学校図工	「子ども一人ひとりが，自分らしさとこだわりを出せる，楽しい図工科の授業をめざして」	114
	小学校体育	「ひとりひとりが楽しく取り組む体育学習 ～運動(題材)との出会いから，学びの高まりへ(3)～」	143
	小学校家庭	「よりよい生活をめざし，生きてはたらく力を身につけて実践できる子を育てる。」	17
		生活科・総合的な学習	「豊かな心でたくましく生きていく力を育てる指導を求めて」 ～子どもの思い，活動のねらいを大切に，人・社会・自然と豊かにかかわる生活科・総合的な学習の時間を考える～
中学校教科別研究協議会	中学校国語	「生き生きとした授業の創造」 ・意欲をもって考えさせる指導法の研究 ・新しい教材の発掘	80
	中学校社会	社会現象を主体的にとらえ，考える子どもを育てるために ～子どもが自ら課題を追究する授業づくり～	66
	中学校数学	「個に応じ，個を生かす数学教育をめざして」	89
	中学校理科	「楽しくよわかる授業の創造と実践に取り組む」	72
	中学校音楽	生徒一人ひとりが生き生きと主体的に参加できる授業のあり方	33
	中学校美術	「創造する喜びを感じ，主体的な表現活動ができる生徒をめざして」	29
	中学校保健	「誰もが『わかる』『できる』『すき』と思える保健体育の授業をめざして」	72
	中学校技術	シェアリング～活動の中でお互い認め合う姿を求めて～	24
	中学校家庭	「生徒の主体的な学びをめざして」 ～思考力を高め，生きる力をつける授業づくり～	25
専門別研究協議会	幼年教育	「幼児観の確立をめざして」	168
	障害児教育	「自ら生きる力を育てる」	174
	養護教育	1. 子どもたちが生涯を通じて心身ともに健康で生きる力を育む方法を研究する。 2. 学校，保護者，地域が連携し，健康教育を実践するための手立てを研究する。 3. 環境(公害)教育，人権・同和教育の問題に取り組む，子どもの健康とそのかわりを研究する。	80
	食教育	食に関する正しい知識を身につけ，実践できる子どもを育てるために	32
	学校事務	学校教育現場における学校事務職員としての職責を自覚し，資質向上のための自己研修，会員相互の研究・連絡を密にし，効果的な学校経営に寄与する。	84
課題別研究協議会	子どもの生活	「子どもの生活を さぐる つくる 高める」	65
	メディア教育	授業のためのICT活用 一人一台パソコンの活用	25
	人権教育	「反差別の学級集団をつくる」	36
	図書館教育	「豊かな心を育み，学ぶ力を育てる図書館教育」	49
	教育課程	子どもたちに確かな学力を身につけるための教育課程の創造	14
	個の育成	その子らしさをのばすことで，自ら活動する子を育てる	19
	進路指導	一人ひとりの生徒のための進路指導・学力保障	14
	国際理解教育	広く世界に目を向け，豊かな心で生活する子の育成	36
	男女共生教育	多様な性や生き方を認め合い，自分らしく生きる子どもの育成	18
合計（講師を含む）			2056

第4章 教育活動を支えるもの

教育講演会，教育研究大会

教育講演会，教育研究大会（課題別・問題別教育研究大会）では，保護者も交えた研修会を実施しました。

開催日	講演会，研究大会名	内容	対象者	場所
8/20 午前	教育講演会	講演「あーよかったな あなたがいて～心の銀行にいっぱい貯金を～」	教職員，保護者	文化会館
8/20 午後	課題別・問題別教育研究大会	実践報告，講演等	課題別・問題別研究協議会会員，保護者	13会場
8/27 終日	教科別・専門別教育研究大会	実践報告，実技講習，講演等	教科別・専門別研究協議会会員	24会場

活動の充実・活性化に向けて

平成19年度から，すべての研究協議会の定例日（年間7回）を同一日に設定しています。その結果，下表のように，幼年教育研究協議会及び小・中学校教科別研究協議会が連携して授業研究を行ったり，他の研究協議会と連携して実践発表を行ったりする取組が可能となりました。これらは「学びの一体化」に向けた一定の成果であると考えられます。一方で新学習指導要領に対応した研究活動の構築や組織の見直しが必要となってきました。

開催月	小学校教科別	中学校教科別	専門別	課題別問題別	研修内容
10月	家庭		食教育		授業研究
11月	理科	理科			実践交流会
	体育	体育			授業研究
			幼年，障害児		実践交流会
	生活		幼年		実践報告会
			国際，進路		実践交流会
12月	音楽	音楽	幼年		授業研究
	家庭	家庭			授業研究
1月	国語			図書館	講演会
	算数	数学			授業研究

平成20年度実績

今後の改善方針

各研究協議会では，教職員の資質向上をめざし，今日的な教育課題に対応した研修会や授業実践を通じた研修会を実施します。また，新学習指導要領に対応した指導内容・指導方法等の研究を推進していくとともに，平成21年度より小学校外国語活動研究協議会を新たに立ち上げ，小学校における効果的な外国語（英語）活動のあり方についての研究も行っていきます。

今後も研究協議会間の連携を図り，学びの一体化への主体的な取組を進めていきます。

三泗運営が主体となり，今後も教職員が研究協議会定例日に参加しやすいような環境を整えていきます。